

Information of Kagamifuchi

2024. 9. 12 新潟市立鏡淵小学校

8月29日 全校朝会 校長講話より

前期後半のスタートにあたって

夏休みの間、静かだった校舎に、皆さんの明るいあいさつの声と笑顔が戻ってきました。皆さんが元気に登校してくるのを見て、先生たちもとても嬉しく思っています。

久しぶりに会った一人一人の姿を見て、夏休みの間に、たくさんの経験をして体も心もぐんと成長したことが感じられます。今、私の話を聞いているときの表情と姿勢からも、「これからも頑張るぞ」という思いがしっかりと伝わってきます。

夏休みの間、しずかだった校舎に

みなさんの

明るいあいさつ 明るい えがお
がもどってきました。

先生たちは、とても うれしいです！



さて、9月14日には、みんなが大好きな芝生のグラウンドで、スポーツフェスティバルが行われます。

今回のスポーツフェスティバルでは、次のようなことを目指しています。

- 日ごろの学習の成果を生かす。
- 運動の楽しさを味わったり、体力・技能の向上を確かめたりする。
- 作戦やポイントなどを友達と一緒に考えて競技に臨む。
- 互いに励まし合い、認め合う。「やってよかった」という思いをもつ。

夏休み前の全校朝会で、スポーツフェスティバルの準備に取り組む5、6年生の人たちの「心に残る行事にするために、応援団に立候補しよう」という気持ち、そして、「今回、立候補はしないけれど、自分にできることはどんどん協力していこう」という気持ちがとてもすばらしかった、というお話をしました。

今回、4年生もミニ応援団になってくれるようで、その準備も進んでいます。応援の練習や係の打合せなども始まっていきますね。1～3年生の皆さんも、これからの練習に元氣いっぱい取り組んでくれるものと思います。皆さんの気持ちと力を一つにし、思い出に残る、すてきなスポーツフェスティバルにしていきたいと思います。

(次のページへ)

お話の終わりに、武者小路実篤という人の詩を紹介します。分かりやすい言葉を使って、たくさんの詩を作った人です。「生長」という詩です。

どうしても とどかなかった枝に
ふと 手をあげてみたら
楽にとどくようになった

木の上の方にある枝が、ずっと気になっていたのでしょうか。

ジャンプしてみても触れず、「どうせ 届かない 無理だよ」とあきらめていた枝。

でも、やってみるものですね。もう一度、ジャンプしてみたのです。そうしたら、今度は手が届いたのです。自分でもびっくりして、「今の見た!？」と周りの人に言いたくなるかもしれませんね。

「どうせ無理… 届かないよ」と思ったままだったら、本当は届く力がついているのに、そのことに気づかないままだったことでしょうか。もったいないですよ。

夏休みの前は手が届かなかったところも、もしかしたら触れるようになっているかもしれません。挑戦してみたら、「やったー!」「もう少しでできるかも!」ということもあるはずですよ。

皆さん一人一人のこれからの頑張り、とっても楽しみです。先生たちみんなで応援していきたいと思っています。